



今月のみさとし/解脱は美事な行願一体である。(ご聖訓 第八巻 125頁)

## 解脱金剛69年祭

# 泉山護持の念篤く、尊者のご遺徳を偲ぶ

金剛さまの祥月命日である 11 月 4 日、菊花の香る御寺泉涌寺にて解脱金剛 69 年祭が執り行われ、御寺泉涌寺長老・上村貞郎猊下を導師に、金剛さまの御法要と今年度の宝塔内斎祀精霊 49 体・56 霊の法要が営まれた。



女子青年の華やかな着物姿は年祭に花を添えた 写真右上=奉献金の目録を上村長老に手渡す渡辺理事長



上村長老猊下を導師に営まれた御法要



全国の会員が舍利殿、仏殿を囲むように参集



斎祀精霊のお働きを祈念して宝塔前で焼香を捧げる遺族たち

ピンクやグリーンのおそろいの上着に身を包んだ関西地区の青年部やエプロン姿の女性部による朝早くからの奉仕により、御寺泉涌寺境内は全国から参集する会員を迎える準備が整えられた。その中、法主さまはじめ本部役員、各界来賓、さらに今年度の斎祀精霊の遺族が舍利殿に昇殿し、第 1 部御法要が正午に開式。

まず、華やかな着物姿の女子青年が生花を、女性部が天茶を御宝前に捧げた。

続いて法主さまが御宝前にて敬白文を奏上された後、導師の上村長老猊下と職衆により、解脱金剛御法要、引き続き宝塔内斎祀精霊の法要が営まれた。

最後に、参加者全員により真心からの勤行が捧げられた。

挨拶に立たれた法主さまは、御皇室の菩提寺である御寺泉涌寺にて年祭法要が行われる有り難さを強調され、解脱会員として泉山護持の責務を果たしていく大切さを述べられた。続いて渡辺孝彦理事長が「尊いご縁の中で今日を迎えた勿体なさを深く心に刻み、み教えを素直に実践し喜びと希望と勇気を持って歩みましょう」と式辞を述べた。続く浄財献納之儀では渡辺理事長より護持奉献金の目録が上村長老猊下へ手渡された。挨拶に立たれた上村長老猊下は「お釈迦様の齒

(仏牙舍利) がお祀りされている尊い舍利殿にて、御法要の導師をお勤めできたことは有り難い極み」と述べ、本会に対する日頃の謝意を示された。

続いて、斎祀精霊を捧持し、法主さまをはじめ本部役員、上村長老猊下、職衆、斎祀遺族らが隊列を組み、会員に見守られながら解脱金剛宝塔へと参進。

斎祀精霊が解脱金剛宝塔内に安置されると、第 2 部奉斎之儀が上村長老猊下をはじめ職衆、来賓も参席の中で恭しく挙行され、金剛さまのご遺徳を偲ぶと共に霊界にて金剛さまの下で働かれる斎祀精霊のお働きを心より祈念した。

本部研修・第 154 回健康学園コース

# 実践した体験に感嘆の声

第 154 回健康学園コースが 10 月 28 日～29 日、御霊地・研修センターに総勢 91 名が集い開催された。

1 日目は小田敏郎相談役より「養生法・食養生編」についての



講話があり、運動不足、低栄養による生活習慣の誤り等を通じて、食生活の大切さを学んだ。その後、「健康指導の活用と支部の活性化」の時間には、各地で実施されている足もみボランティア等の活動について学びあった。

昼食後は、健康総合指導として 3 つのグループに分かれて指導を受け、13 名の初参加

者も真剣に学んだ。

2 日目は、熊本大津支部の光永土範さんより、熊本地震の体験から、足もみ茶話会を開催している実践発表があり、参加者に感動を与えた。その後は、クラス別学習の時間となり、各々が希望したクラスに分かれて学んだ。

参加者たちは 2 日間を通じて交流を深め、喜びと感動の中で帰路についた。

# 村山正幸常任理事ご逝去



村山正幸常任理事が、去る 11 月 3 日に霊界入りされた。享年 71 歳。

村山先生は、昭和 21 年に北海道に生まれ、同 46 年に本部奉職後は、総務部長、経理部長等を歴任し、常に本会の運営面の中心において優れた手腕を発揮された。

その後、東北第 1・第 2 教区の担当を皮切りに布教現場において活躍され、平成 17 年からは布教本部員として、多くの人を教導される傍ら、平成 25 年 1 月からは常任理事として重責を果たされた。

力強く説得力のある講話をされることで知られていた村山先生は、修法・教学をはじめあらゆる面において研究熱心な人としても知られており、新宗連の研究会において、宗教法人法の講義を担当された経験もあった。

布教・運営両面で辣腕を発揮され、多くの業績を残されたご生涯であった。

解脱練心館・第 45 回解脱選抜少年剣道錬成大会

# 技と力と感謝の心をもって

11 月 12 日、解脱練心館において、第 45 回解脱選抜少年剣道錬成大会(解脱会主催)が開催された。北本市や剣道関係者など多くの来賓を迎え、埼玉県を中心に関東各都県から強豪道場過去最多の 87 チーム(うち解脱練心館 4 チーム)の選手とその保護者ら約 1500 人が集った。この大会は解脱金剛杯と北本市長杯を争奪しての 7 人制団体戦で、先鋒

から中堅までの 4 名が小学 4 から 6 年生、三将～大将までの 3 名が中学生の混合チームで行われた。また試合の模様は昨年同様、LET'S KENDO の協力によりインターネットで全国配信された。

当日は午前 9 時に開会。田中宏明大会副会長(御霊地局長)の開会宣言、国歌斉唱、優勝杯返還に続いて渡辺孝彦大会々長(本会理事長)の開



会挨拶では、お世話になった方への感謝の気持ちをもって積み上げた技と力を充分発揮するよう選手らを激励した。

来賓挨拶、選手宣誓の後に錬成試合となった。

白熱の試合が繰り広げられ、

館内は歓声に沸いた。結果、東松館道場(東京)が優勝し、大会三連覇を果たした。

練心館は A チームが準々決勝戦で、3 勝(3 本)対 3 勝(4 本)の僅差で敗れ、悔しいベスト 8 となった。

静岡教区・一碧湖神社秋季大祭

# 尊い御神徳の中で

静岡教区では 9 月 24 日、静岡県伊東市にある一碧湖神社にて第 99 回一碧湖神社秋季大祭を挙行。本部より小林正二指導員が出講、宮原秀治教区副担当が参列し、94 名が参加した。

祭典は、鈴木隆司教区長の祝詞奏上、小林指導員や代表者による玉串奉奠など厳粛に進み、来年に建立 50 年の節目を迎える当神社の御神徳を仰ぎ、さらに盛



り上げて行こうとを志気を高めた。

またこの日、境内において家族スクールも併せて開催され、ビンゴゲームやお菓子のつかみ取り、伝達ゲーム、紙飛行機作りなどで子供たちも楽しく神社の神域で過ごした。

# 2018 年初詣は御霊地から



元旦祭 平成 30 年 1 月 1 日  
午前 11 時開式(太神社殿前)

江戸川支部設立80周年記念感謝会

# 親子孫が一つになって

10月29日、支部設立80周年記念感謝会が東京・上野の「ホテル・パークサイド」を会場に開催された。

本年1月に逝去した本会相談役でもあった前支部長への黙祷で始まった第1部は、国歌斉唱、拝礼行事、み声拝聴と

進み、加藤英昭支部長が、この日のために父である昭二前支部長が書き遺した原稿を披露し、どれだけこの日を楽しみにしていたかとその思いを偲び、祖父である英治初代支部長から続く支部の歴史と90周年に向けての抱負を述べた。

来賓の岡野英夫顧問、関日出夫常任理事の祝辞の後、渡辺孝彦理事長が記念講

話に立ち、みさとしにふれつつ報恩感謝の大切さを説かれた。



その後、支部を支えてきた功労者8名への表彰式が行われ、代表して池上善子さんが御礼の挨拶を述べ、閉会挨拶、会歌斉唱、終礼行事で第1部が終了した。

第2部は青年部の「よさこいソーラン」で勢いよく幕が開き、朝比奈憲一教区長の乾杯で祝宴となった。「支部の歩み」のスライドショーや青年部員の津軽三味線、女性部による合唱、福引きで会場は最高潮を迎え、金原真一副支部長の謝辞に続いて、支部長夫妻、相談役夫人への花束贈呈、宮島喜逸本会相談役の手締めをもってお開きとなった。



指ヶ谷支部設立80周年記念感謝会

# 心を一つに 感謝の千巻供養

指ヶ谷支部は10月14日、支部道場にて支部設立80周年記念感謝会を、子支部の江戸川北支部・仲佐支部長夫妻を迎えて厳かに開催された。

当支部は朝比奈直造氏が昭和12年に金剛さまより拝命。同34年に妻の菊枝氏が継承、平成17年に娘婿の憲一氏が三代目支部長を継承し、現在に至る。

開会挨拶で朝比奈支部長は、「創立80周年を祝う意義は、支部を支えてきた先

人・先輩諸霊に感謝の祈りを捧げ、その精進努力を徳として顕彰することと支部創立時の熱い思いを継承することにある。私たちは解脱の法縁にふれさせていただいたことを深く心にとめ、法縁の輪を拡げ、核となる秘義三法をひたすら行じ、精進していく」決意を述べた。仲佐久代江戸川北支部長からは、「他人の幸せを念じることが大切」との言葉があった。

メインプログラムの「千巻供養」では、参加者全員が心を一つに先人・先覚者へ感謝の祈りを捧げた。直会は、支部会員の縁でパレスホテル東京に場所を移し、和やかにフランス料理を楽しみ、90周年に向けて新たな一歩を踏み出した。



京都教区・教区大会(家族スクール)

# み教えを家族で学ぶ大切さ

10月22日、京都教区は「茶話会活動から家族学びへ」「独り学びからの脱却」を目的に教区大会(家族スクール)を開催し、69名が関西道場に参集した。

先ず田中英次京都教区長が茶話会の意義を含めた開会挨拶があり、その後「茶話会活動から家族学びへ」をテーマに、中元敏彦指導員が、父親との関係で学んだ家庭での体験を語った。その話を引き

悲しみを乗り越えることができたこと等、み教えを家族で学ぶ大切さを述べた。

第2部は直会となり、食事しながら田中教区長が率いる祇園祭船鉾の祇園囃子を、辻で行う囃子の解説を入れながらの演奏に続いて、新入会員が入会の動機を発表し拍手喝采を受けたりと和やかな雰囲気が進み、最後はお待ちかねの大抽選会で会場は大いに盛り上がった。今回は、家族学びの大切さと和気藹々とした直会で参加者らは大変有意義な一日となった。

継ぐように、出講の村上説男指導員が「独り学びからの脱却」をテーマに、自らの体験の中で家族の会話から、病気の父が健康指導を受け治療できたことや、息子を亡くした時も夫婦の会話によって



東京第4教区・健康指導研修

# 施しのために体力の改善を



10月22日、東京第4教区は人様の幸せづくりのため心身を養うことを目的に健康指導研修会を大岡山支部で開催した。出講の津村和範指導員は、支部や人様へのお返し、施しのためにまずは自分の体力の改善を図ることが必要と述べた。続いて宇佐見光男教区長は、「支部や人様のために皆さんが学び、多くの人々に伝えてほしい」と挨拶し、人様への施しの気づきが深まった研修となった。

ハワイ便り

# 洋菓子店最優秀賞& 平和の祈り



記念の受賞楯

ハワイ解脱教会会員の田中ひろみさんが経営する洋菓子店「La PalmeD'or (ラ・パルム・ドール)」が、ハワイの新聞社「ホノルル・アドバタイザー」と老舗の劇場「ダイヤモンドヘッド・シアター」が毎年発表するレストラン&グルメ対象で、「ベスト・デザート」審査員部門の最優秀賞「イリマ・アワード」を受賞した。10月9日には受賞式典が開催され、受賞した約30店舗が自慢の料理を参列者に提供した。La PalmeD'orの「パイナップル・ショートケーキ」が大変好評だった。お店はアラモアナセンター2階山側にあるので、ハワイへの旅行の際にはお立ち寄りを。

10月22日、ハワイの宗教団体の代表者が集まり、平和の祈りを捧げる「ピースプレイヤー(平和の祈り)」が、ハワイ解脱教会において開催され、約20の教団の代表者がそれぞれの作法で世界平和の祈りを捧げた。基調講演では、「水は命、日々の生活で水への感謝を忘れずに」をテーマにカネワイ湧水地の保全活動団体の代表クリス・クレマーさんの講話があった。

最後に神谷開教師のウクレレ伴奏にあわせて「世界に平和を」を参加者全員で合唱し、持ち寄りの夕食を楽しんだ。

## 中部圏域・出講者研修

# 心に響く話し方を学ぶ

中部三教区(愛知、名古屋第1・第2)では10月29日、「心に響く話し方~分かりやすく、感じよく」をテーマに中部圏域出講者研修を中部道場にて開催した。話し方研究家の石倉有規氏を講師に招いて2



回目となる今回、人前で話す実践をしながら話の組み立て方や伝える力を学んだ。

石倉氏は、「分かりやすい言葉で、具体的に、話す順序に

工夫しながら、肯定的な表現で主題を明確に話すことが大事」と述べられた。

参加者は、講話をはじめみ教えを伝えるため研修の学びを生かそうと誓い合っていた。

## 岐阜関ヶ原支部・秋季怨親平等大供養

# 一人ひとりが主催者の供養祭



毎年好評の紅白の餅まき

り、これも金剛さまの天茶供養と長年、供養祭を続けてきた先輩の尽力の賜物と感謝の念篤く、支部会員の供養祭への意気込みは衰えない。

また偶然居合わせた地元住民や現地の観光

「天下分け目の戦」のあった古戦場の地元・岐阜関ヶ原支部では10月29日、秋季怨親平等大供養祭を行った。

近年、岐阜県をあげて関ヶ原町の発展・整備が進んでお

客が、会員の勤めに応じて献花や献天茶を行うなど、「一人ひとりが主催者」との会員の合言葉通りの行事となっており、支部の社会貢献活動としても伸展している。

平成29年度

## 御寺泉涌寺護持会新入会員

### ■継続会員(10万円)

加藤 真一 (名古屋太閤通)  
笹倉 範久 (丹波山南)

### ■継続会員(5万円)

岡野 英祥 (埼玉北本宿)  
櫻井 雄二 (日本橋中央)  
和田 縫子 (道後石手)  
岡田 節子 (滋賀大津)  
瀬尾 正照 (広島世羅)  
中嶋美代子 (伊賀友生)

### ■解脱会剛69年祭時の平成29年度

#### 御寺泉涌寺護持会費献納金の内訳

継続会員 10万円 50名 56口  
継続会員 5万円 129名 137口  
合計 179名 12,350,000円

## 道東教区・女性大会

# 女性である前に人として



北海道々東教区では、10月29日に足寄町東支部にて女性大会を開催し、本日より武市万苗指導員が出講し、30名が参加した。「女性である前に人として」をテーマに、女性同士の人間関係について学

びを深めた。

道林孝吉教区長の挨拶の後、太田幸恵さん(釧路支部)が体験を発表。高熱が続き入院したある夜、供養塔の入った大きな桶に浸かっている自分に注がれる天茶が何とも心地よく感じる夢を見たが、後から仲間の会員が平癒祈願の天茶供養を行ってくれていたことを知り、天茶供養を受ける靈魂の喜びと人の真心の有り難みを実感した感激を述べた。

武市指導員は、母娘、嫁姑と女性同士の人間関係について体験を交え講話した。その中で、「自分中心の考え方はせず、我を捨てる錬成を繰り返す中で相手の立場で考え相手の人間性に心を開いて生活する大切さに気付いた」と話し、参加者から共感の拍手が贈られた。